定例記者会見

令和5年4月5日(水)13時30分 医療DX推進への対応 福岡市医師会 専務理事 案浦 美雪



1. 「医療DX」について

○ 「医療DX」とは

デジタル技術を用いて、医療現場の業務やサービス自体を変革させること

○ 「医療DX」に関連するデジタル技術(一部抜粋)

項目	内容	
電子カルテ	診療内容や経過などを記入した紙の診療録(カルテ)を 電子データ化	
マイナ保険証	マイナンバーカードを健康保険証として利用 (要登録)	
オンライン資格 確認システム	マイナンバーカードのICチップ等により、患者が 加入する保険をオンラインで確認	
電子処方箋	「オンライン資格確認システム」を利用して 処方箋を電子化	

2. 政府が目指す「医療DX」

○ 「医療DX令和ビジョン2030」

項目	内容	
「全国医療情報プラット フォーム※」の創設	「オンライン資格確認システム」のネットワークを基盤に、 患者の医療情報を集約し、全国で共有可能	
電子カルテ情報の標準化、 標準型電子カルテの開発	会社毎に異なる電子カルテの規格では情報連携が図れない ため、医療情報交換の国際標準規格を用いて、カルテ情報 を標準化	
診療報酬改定DX	診療報酬改定時に短期間で多大な業務負荷が生じている システム改修等について、各レセコン会社が共通のものと して活用できるプログラムを作成し、業務を効率化	

※プラットフォーム:システム運営に必要な共通の土台や基盤

一般社団法人福岡市医師会

3.「医療DX」に関する状況調査

1	オンライン資格確認 の運用状況	□運用開始済み →Q2へ □経過措置対象 (訪問診療のみ、医師が □義務化の対象外 (紙レセプトなど)	が高齢でレセプト件数が少ないなど)→Q8へ
2	導入メリット	□あり ※具体的内容をご記載ください	□なし
3	導入時のトラブル事例 (複数選択可)	□カードリーダー関連 □ネット回線 □その他 ※具体的内容をご記載くださ	□ベンダー対応 □なし :い
4	導入費用	□補助金内で収まった →Q6へ	□補助金内で収まらなかった →Q5へ
5	Q4で「収まらなかった」回答の方 収まらなかった費用	□30,000円未満 □100,000円超	□30,000~100,000円
6	マイナンバーカードを 健康保険証として利用 した患者[R3/10/20以降]	□あり ※「あり」の場合、1週間当の平均	□なし 利用者数は約〔 〕名
7	Q1で「システム整備中」を 回答された理由 (複数選択可)	□ベンダーの対応待ち□カードリーダーが届いていない	□ネット回線工事待ち
8	導入・運用に 関する懸念事項 (複数選択可)	□マイナンバーカードの普及率 □導入費用やランニングコスト □その他 ※具体的内容をご記載くださ	□ベンダーの対応
9	電子カルテの導入状況	□導入済 →Q11へ □導入検討	中 →Q10へ □導入予定なし →Q10へ
10	Q9で「検討中」「予定なし」回答の方 電子カルテ導入に あたっての問題点 (複数選択可)	□電子化の必要性がない □サイバーセキュリティ対策 □導入費用やランニングコスト □ベンダーの対応 □その他 ※具体的内容をご記載ください	
11	電子処方箋の導入状況	□導入済 □導入検討	□導入予定なし
12	ご意見・ご質問等		

調査対象

会員医療機関 1,299件

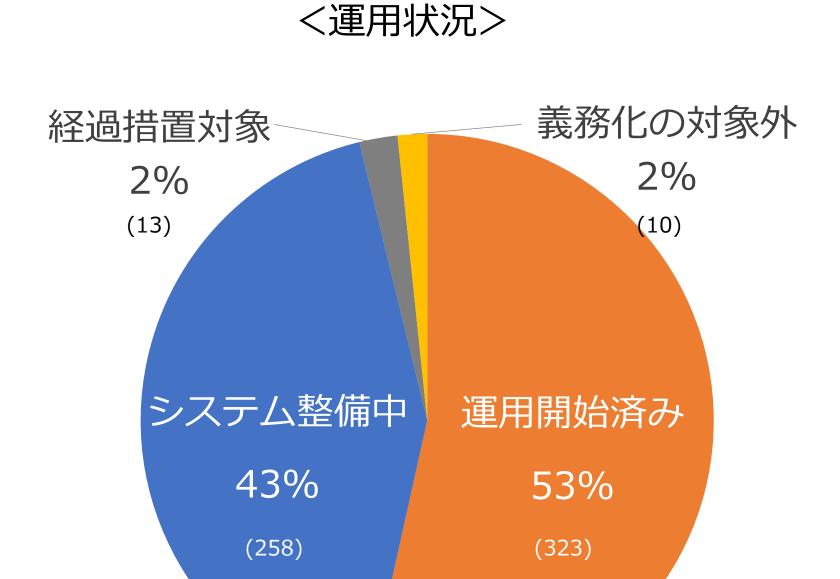
回答状況

605件 (回答率46.6%)

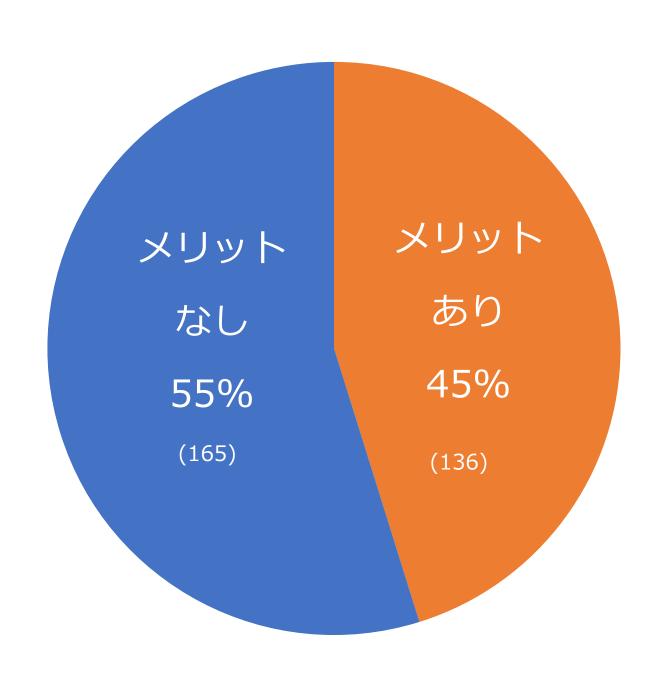
調査期間

令和5年3月13日~24日

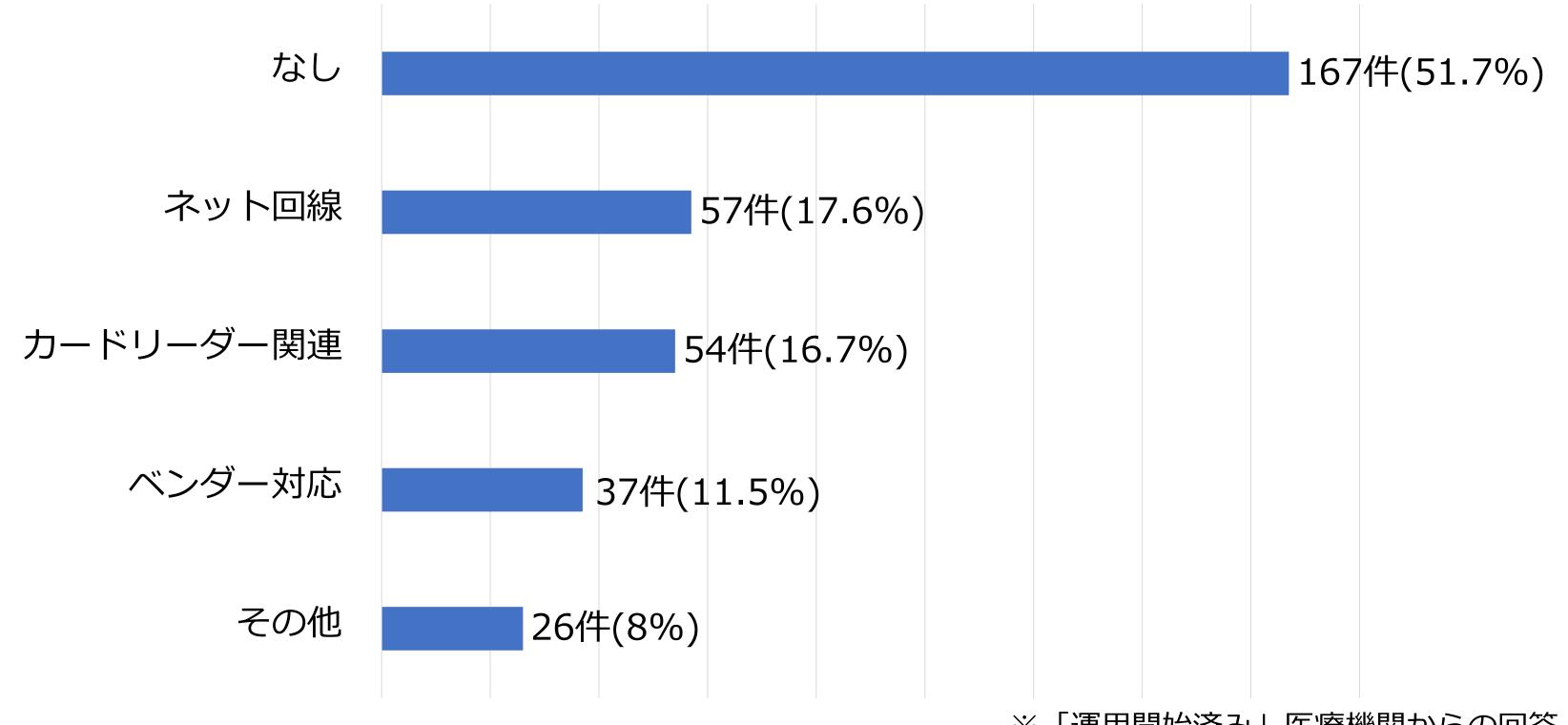
4. 「オンライン資格確認」について







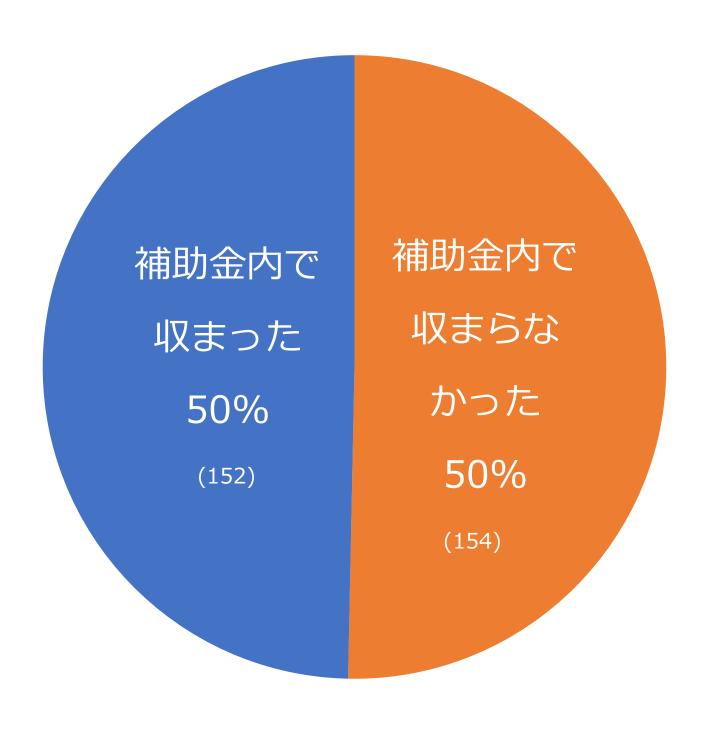
5. 「オンライン資格確認」導入時のトラブル事例



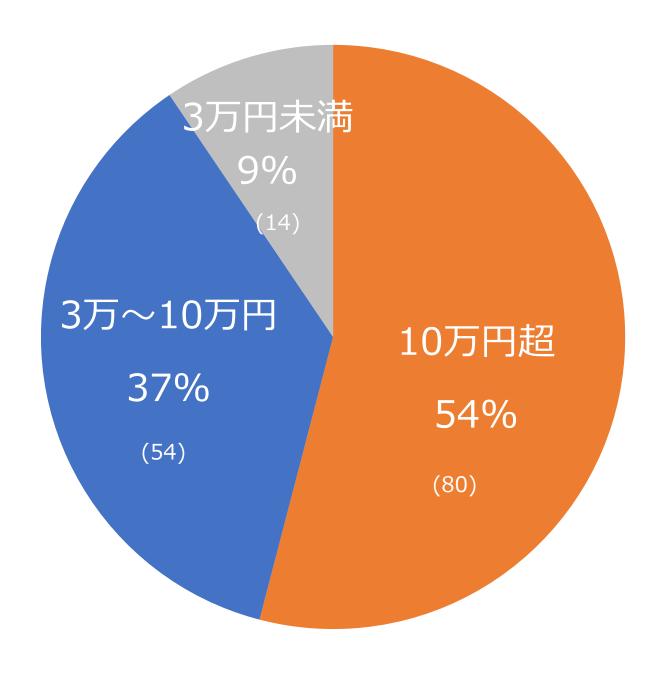
※「運用開始済み」医療機関からの回答

6. 「オンライン資格確認」導入費用



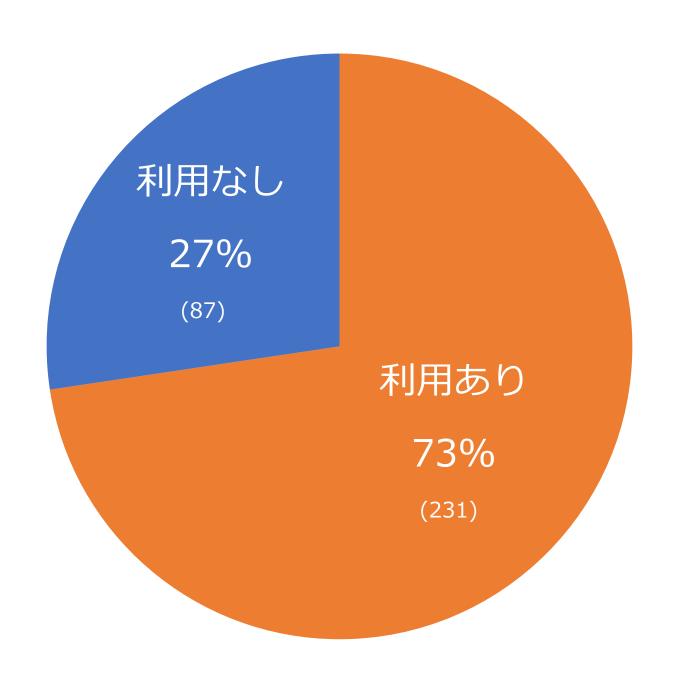


<補助金に収まらなかった費用>

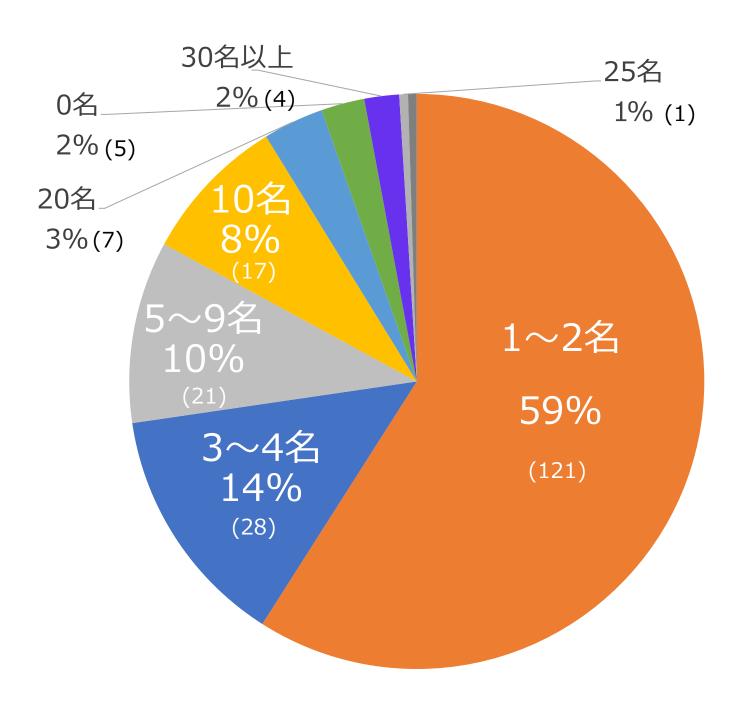


7. 「マイナ保険証」について

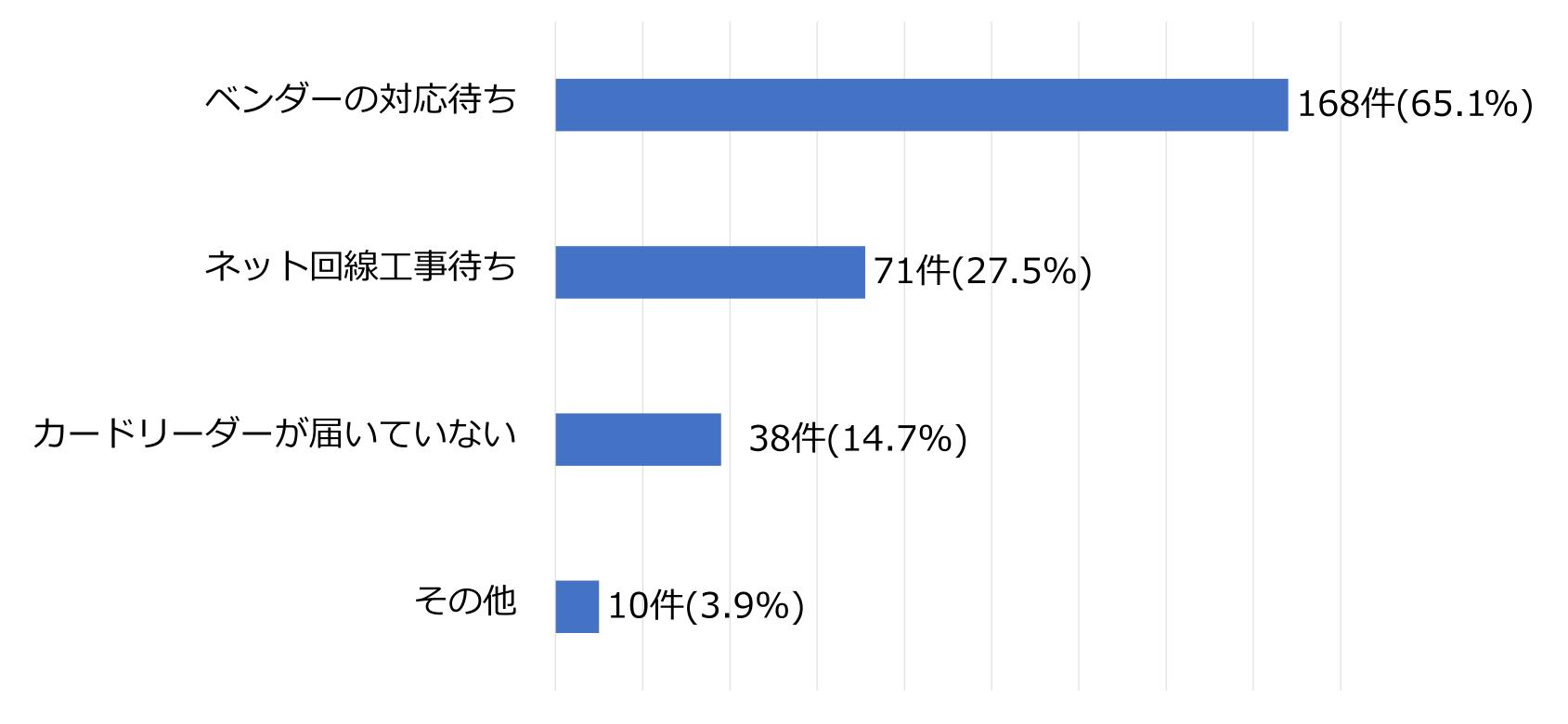
<マイナ保険証を利用した患者>



<1週間の平均利用者数>

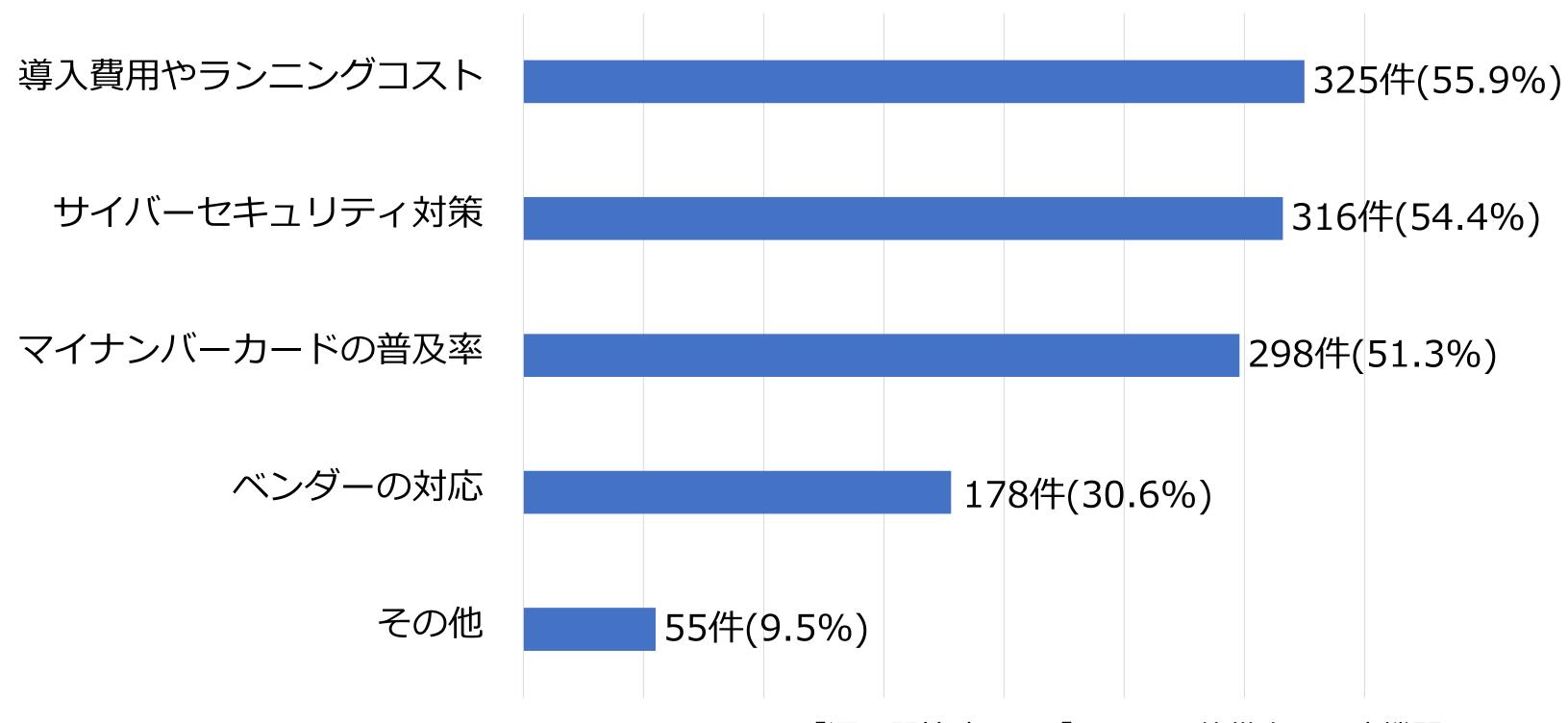


8. 「オンライン資格確認」のシステム整備中の理由



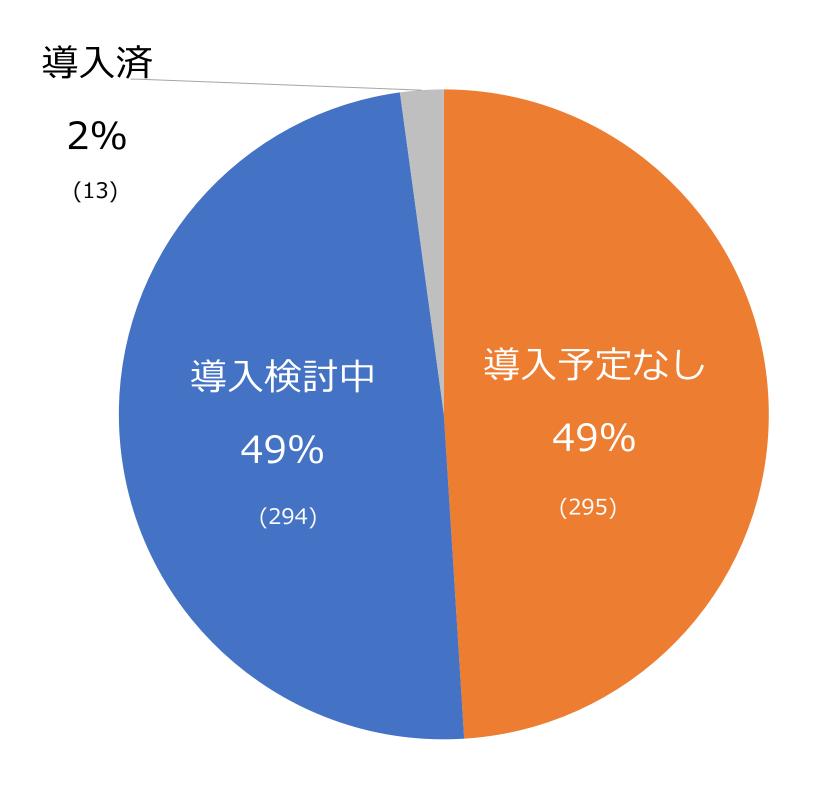
※「システム整備中」医療機関からの回答

9. 「オンライン資格確認」導入・運用に関する懸念事項



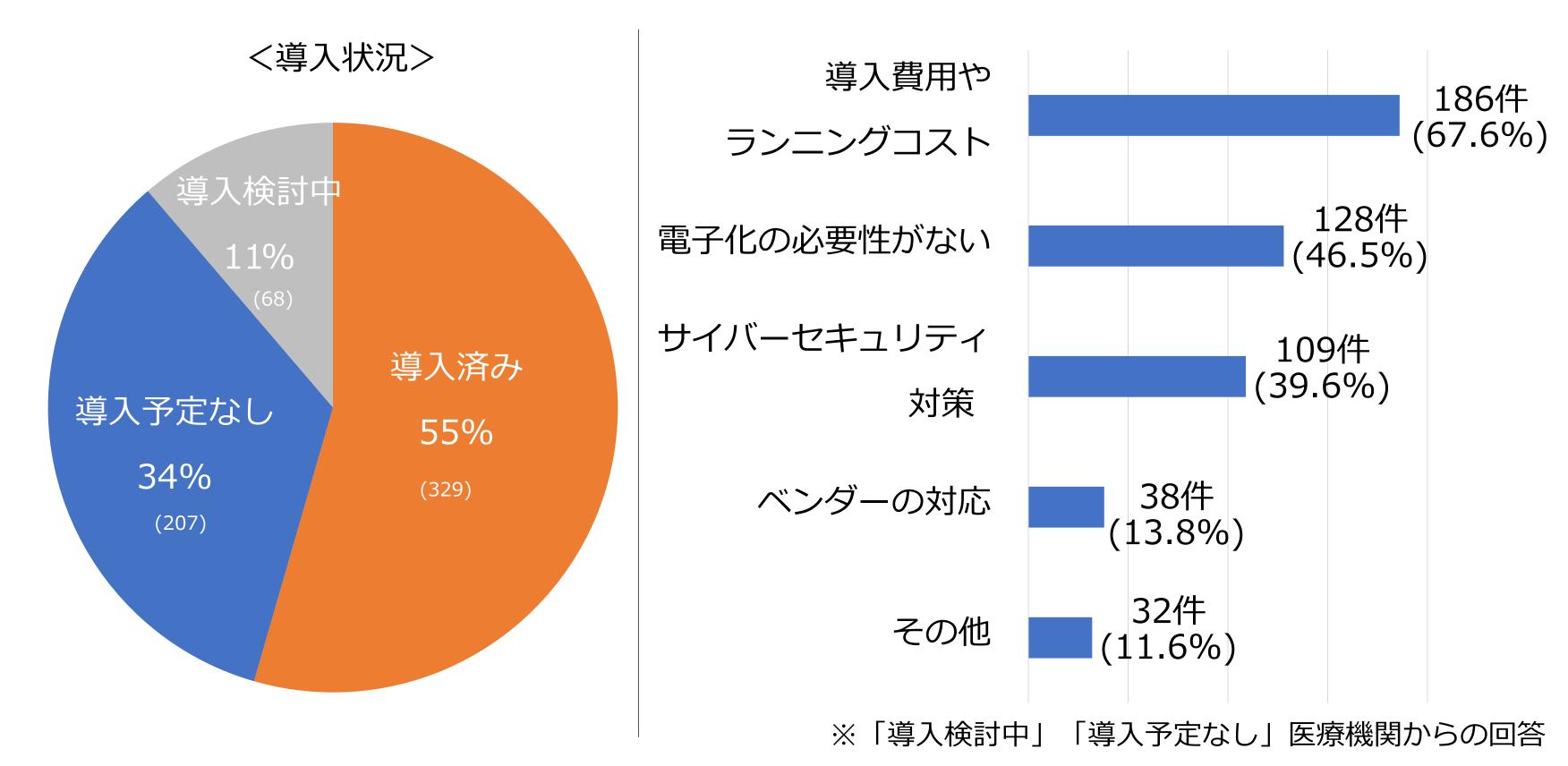
※「運用開始済み」「システム整備中」医療機関からの回答

10. 「電子処方箋」導入状況



11. 「電子カルテ」について

<導入にあたっての問題点>



12. 「医療DX」に対するご意見・ご質問等

○導入利点

- ・業務負担軽減 (保険証の取り込みや資格確認が容易)
- ・薬剤情報が確認可能

○懸念事項

- ・導入費用やランニングコスト
- ・セキュリティ対策(対策費用、情報漏洩時の対応)
- ・システムトラブル時の対応、ITリテラシー不足
- ・マイナ保険証の普及率、各種公費への対応(子ども医療証等)

13. 「医療DX」推進に対する福岡市医師会の取組み

○情報セキュリティマニュアル

福岡県警サイバー犯罪対策課や情報セキュリティ会社との連携、 本会独自に情報セキュリティマニュアルを作成の上、会内周知

○会内講演会開催予定

政府が進める「標準型電子カルテ」の工程表や費用、現行の電子カルテの問題点や相談窓口など、電子カルテに関する会内向の 講演会を本年度開催予定